

# 平成 1 6 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

学校番号	2 1	学校名	茨城県立水戸第一高等 学校				課程	全日制		学校長名	稲葉節生					
教頭名	後藤克己								事務(室) 長名	石井則男						
教職員数	教諭	5 2	養護 教諭	1	常勤 講師	0	非常勤 講師	2	実習教諭, 実習講 師, 実習助手	2	事務職 員	5	技術職 員等	3	計	68
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		188	141	200	126	184	141			572	408	2 4			
	科															
科																

## 2 目指す学校像

授業を中心とした新鮮で活気ある学習活動が展開される学校。  
 学校行事, 生徒会活動, 委員会活動, 部活動など多様な活動機会があり, 活動する中で生徒が切磋琢磨し, 経験の蓄積と成長ができる学校。  
 生徒が希望する進路の実現に貢献できる学校。

## 3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
大学進学	この 10 年間, 現役合格率は 6 割を前後して推移しているが国立大学合格者は減少傾向にある。 ( H6 : 159 人/405 人中 H15 : 99 人/320 人中 )	安易な受験になることなく, 希望実現を果たし現役進学率を向上させること。
運動部活動	加入率は高い水準(約 6 割。男子は 7 割弱。)を保っているが, 学級減及び女子の増加により, 男子の絶対数が減少し競技力は下がっている。県高校総体総合順位(男子)は年度 11 12 13 14 15 となっている。 順位 4 5 5 6 10	部の中で正当な競争が生ずるような環境を作り, 競技力の向上を図ること。

## 4 中期的目標

単位制への円滑な移行を図るとともに、シラバスを作成し選択科目及び学校設定科目を充実させる。  
 在校生のために「職業を語る卒業生データベース」を構築し、適時適宜な進路講演会など先輩後輩の活発な交流を実現することにより、進路意識を高揚させ、希望する大学への進学率を高める。

## 5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	単位制移行への準備 「卒業生データベース」の構造設計と情報収集	学校設定科目の内容を確定する。 シラバスを作成する。 生徒が活用できるデータベースの構造を設計する。 卒業生への情報提供呼びかけルートを開拓する。	
2年次	新入生へのオリエンテーション 「卒業生データベース」の立ち上げと活用方法の確定	入学時のオリエンテーションを充実させ、3年間を見通した学習の取り組み及び学校生活の見通しを持たせる。(シラバスの活用) 入学時特別時間割を組み、オリエンテーションの徹底を図る。 データベースへの情報の入力。(100件を目標)	
3年次	学校設定科目、選択科目の十分な事前説明 「卒業生データベース」を活用した事業の実施	「ひとりひとりに応じた選択」にできる限り近づける。 各専門分野に関し興味関心のある少数生徒を対象とした進路講演会などを実施する。	